

## 保存温度を超過した新型コロナワクチンの接種について

### (1) 概要

武田/モデルナ社製ワクチンを保管する冷凍庫内（以下、「冷凍庫」という。）で常温となった状態のワクチンを誤って市から医療機関へ配送し、130名の方に接種したことが判明しました。

接種をされた方には、市からご連絡の上、ご説明させていただきます。

なお、保存温度を超過したワクチンは、抗体形成が不十分な可能性があるため、対象者には抗体検査を行い、希望者には再接種を実施させていただく予定です。

接種いただいた方に深くお詫び申し上げます。

### (2) 経過等

7月25日14:30頃 ワクチン担当者が4回目で使用するワクチンの在庫数を確認するために保管場所を訪れた際に、電源コードの抜けが判明しました。

7月26日9:30頃 冷凍庫内に設置している温度ロガー及び当該ワクチンの医療機関への配送有無を確認しました。

#### 【温度ロガー情報】

- ・6月30日 20:30頃より冷凍庫内の温度上昇
  - ・7月2日 18:30頃冷凍庫内温度8℃を超える
- ※冷凍庫の温度確認については6月28日に実施済

#### 【医療機関への配送】

- ・7月5日に2医療機関へワクチン配送を実施

### (3) 原因

- ①冷凍庫設置場所のコンセントを固定していなかったため、人の足との接触等によりコンセントが外れたものと推測されます。
- ②非常用電源にも接続していましたが、武田/モデルナワクチンの配送依頼が少なかったため、冷凍庫の確認頻度が少なく、電源コードの抜けに気づくことが出来ませんでした。
- ③ワクチン取り出し時に、冷凍庫内の温度確認を実施していなかったこと及び厚手の手袋を装着した状態での取り出しであったため、温度の変化に気づくことが出来ませんでした。

#### **(4) 再発防止策**

- ①ワクチン配送の際は、冷凍庫内の温度を目視ではなく、チェックリストを活用して、職員2名体制で必要事項や注意点を確認します。
- ②冷凍庫内の温度については毎日確認の上、温度記録表に記載します。
- ③冷凍庫用コンセントについては、脱落（抜け）防止策として、固定するとともに、電源コードの場所を明示し、職員全体の情報共有を図ります。

問い合わせ：河内長野市 健康推進課 TEL:0721-55-0301